

# 平成 26 年度 研究計画書

## Research Plan FY2014

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア II 講座 講師
氏名 Name	池田一人
専門分野 Academic Field	ビルマ近現代史

### 平成 26 年度 研究計画 Research Plan FY2014

主たる研究テーマ Principal Research Subject	ビルマのカレンをめぐる民族形成過程と民族問題の起源に関する歴史研究				
研究計画 Research Plan	<p>昨年度に引き続き、以下の 2 つの研究テーマに取り組む。</p> <p>第一に、ビルマ社会の主流派が依拠する歴史観（タキン史観）によって偏向してとらえられてきたビルマ民族問題の起源に関する歴史理解を、カレン民族問題を事例に実証的に乗り越えて、新たな歴史像を提示する研究を行う。具体的には、第 1 にそのタキン史観の流布・作用過程の解明、第 2 に 1950 年代前後のカレン問題展開の精査、第 3 に民族問題の原因とされる英国植民地政府による民族優遇策の実態解明という 3 点を当面の論点とする。本年度は第 1 のテーマについて論文化し、第 2 と第 3 の点についての史資料入所と分析を行うことを課題とする。</p> <p>第二に、19 世紀から 20 世紀前半のビルマにおける「民族」という社会単位の発現過程を、カレンとビルマ民族を事例に解明する歴史研究を行う。このテーマについては、19 世紀王朝下の「民族」観念を論じうる素材の発掘を行う。</p>				
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research	アジア・アフリカ史 (東南アジア・近現代)	地域研究 (東南アジア)	文化人類学・民俗学 (東南アジア)	史学一般 (歴史観)	
キーワード Keywords	カレン	ビルマ	民族	民族問題	史観